

せっこうボード面及びその他ボード面

18章9節:合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ハイライト#700やすらぎ(標準仕様)

公共仕様No.
DNT-新設・9-4-06

使用材料一覧表

| 規格 一般名称 | 商品名 | ホルムアルデヒド 放散等級 | 希釈剤 |
|--------------------------------|----------------|------------------|-----|
| 1 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー | 水性マイティーシーラーマルチ | F☆☆☆☆ | — |
| 2 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント | ハイライト#700やすらぎ | F☆☆☆☆ | 水道水 |

塗装仕様

表18.2.7 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ【A種】

| 工程 | 塗料その他 | | | 面の処理 |
|----------------|-------------|---------------|-----------------|------------------------|
| | 規格番号 | 規格名称 | 種類 | |
| 1 乾燥 | — | | | 継目処理部分を十分に乾燥させる。 |
| 2 汚れ、付着物除去 | — | | | 素地を傷つけないように除去する。 |
| 3 穴埋め、 パテかい | JIS K 5669 | 合成樹脂エマルジョンパテ | 一般形 | 釘頭、たたき跡、傷等を埋め、不陸を調整する。 |
| | JIS A 6914 | せっこうボード用目地処理材 | ジョイント コンパウンド | |
| 4 研磨紙ざり | 研磨紙P120～220 | | | パテ乾燥後、表面を平らに研磨する。 |
| 5 パテしごき | JIS K 5669 | 合成樹脂エマルジョンパテ | 一般形 | 全面にパテをしごき取り平滑にする。 |
| | JIS A 6914 | せっこうボード用目地処理材 | ジョイント コンパウンド | |
| 6 研磨紙ざり | 研磨紙P120～220 | | | パテ乾燥後、全面を平らに研磨する。 |

- (注) 1.屋外及び水回り部の場合は、工程3及び工程5の合成樹脂エマルジョンパテは、塗料製造所の指定するものとする。
 2.工程3及び5のせっこうボード用目地処理材は、素地がせっこうボードの場合に適用する。
 3.けい酸カルシウム板の場合は、工程3の前に吸込止めとして反応形合成樹脂ワニス(2液形エポキシ樹脂ワニス)全面に塗る。
 4.仕上げ材が仕上塗材の場合は、パテは仕上塗材製造所の指定するものとする。
 5.仕上げ材が壁紙の場合は、壁紙専用のものとする。

表18.9.1 合成樹脂エマルジョンペイント塗り【B種】

| 工程 | 商品名 | 色相 | 混合比率 (重量比) | 希釈率(%) (重量比) | 塗装方法 | 塗付け量 (kg/m ² /回) | 塗装間隔 (20℃) |
|-------|--------------------|----------------|---------------|-----------------|------------|--------------------------------|---------------|
| 1 下塗り | 水性マイティー シーラーマルチ | 透明なブルー クリヤー | — | 無希釈 | 刷毛 ローラー | 0.07 | 2時間以上 |
| | | | | | スプレー | | |
| 2 中塗り | ハイライト#700 やすらぎ | 各色 | — | 5～15 | 刷毛 ローラー | 0.10 | 2時間以上 |
| | | | | 20～30 | スプレー | | |
| 3 上塗り | ハイライト#700 やすらぎ | 各色 | — | 5～15 | 刷毛 ローラー | 0.10 | — |
| | | | | 20～30 | スプレー | | |

- (注) 1.素地ごしらえの種類は、塗料その他の欄による。
 2.押出成形セメント板面の素地ごしらえは、表18.2.6によるB種とする。

18.2.7 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ
 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえは表18.2.7により、種別は特記による。
 特記がなければ、せっこうボードの目地工法が継目処理工法の場合はA種、その他の場合はB種とする。

18.9.2 せっこうボード面及びその他ボード面合成樹脂エマルジョンペイント塗り
 合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表18.9.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。
 なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。

注意事項

- * 上記塗付け量は国土交通省 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。
 そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
 * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。